

マイノートの活用について

那覇市立教育研究所では、初任者研修等の経年研修で、「授業づくり」等の講座で、教材研究ツールとしての「マイノート」の活用の研修を行っています。

教材研究や授業記録としてのマイノートを日常的に活用することで、**授業力向上**につながります。

PDCAサイクルで日々の授業を考え、授業改善につながる、マイノート。

ぜひ、作成・活用下さい。

以下に、研修で使いました、資料を掲載します。

[平成29年度版]

推進期間：平成29年度～平成31年度

学力向上推進プロジェクト

授業改善6つの方策

～日々の授業の充実を通して～

学力向上の取組の重点を「授業改善」におき、日々の授業の充実を通して、本県幼児児童生徒に「確かな学力」を身に付けさせ、「生きる力」を育みます。



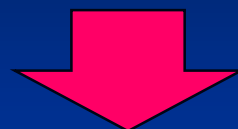
授業改善6つの方策

- めざす授業像の共有
- 教材研究の充実
- 学力向上マネジメントの推進
- 学習を支える力の育成
- 集団づくり・自主性を高める取組の充実
- 教育行政による効果的な支援体制の構築



平成28年12月
沖縄県教育委員会

本県学力向上の重点取組



授業力向上

各教科で

- ①学ぶ意義・身に付けさせたい力の明確化
- ②指導内容の吟味
- ③指導方法の工夫

教材研究の充実

教材研究ツール

- 子どもの実態把握や授業の振り返りを含めた教材研究を重ねることが重要。
- 「教材研究ツール」を日常的に活用することが、授業力向上につながる。

マイノート (教材研究ノート)

Ⅲ 授業改善6つの方策

幼児児童生徒の「確かな学力」の向上を図るため、県教育委員会、市町村教育委員会、学校が連携し、授業改善6つの方策をもとに取組を進める。

方策1 めざす授業像の共有

めざす授業像を共有し、授業改善の取組を展開する

方策2 教材研究の充実

多様な教材研究の方法を共有することで、授業改善の推進力を高める

方策3 学力向上マネジメントの推進〈共有・浸透〉

マネジメントを機能させ、全校体制で取組を推進する

方策4 学習を支える力の育成

学習を支える力を育成することで、子供たちの学習意欲を高め授業改善を下支えする

方策5 集団づくり・自主性を高める取組の充実

支持的風土づくりや生徒指導のポイントを生かした授業改善を推進する

方策6 教育行政による効果的な支援体制の構築

教育行政の学校支援体制を充実させ、学校と共に授業改善を推進する

マイノート例① (小学校・国語)・・・上段に教材文、下段に教材解釈をし教材研究
P(計画)・・・身に付けさせたい力の明確化

教材文

① 村人たちがたびたびたましたつそ
つき少年の話。話題提示

② 事実と結びつけて使うことが大切な事。
話題提示

③ 同じ事実と結びつけても、伝える人
よてちがう言葉。問題提起

④ 最終ランナーのところまで、一組が二組を
ぬけて勝ったり。事例

⑤ 見出しに、「大勝利」「快勝」と書いた
同じ組の夏川さんと春村さん。事例

⑥ 「おとも敗れる」と書いた二組の秋田さん。
事例

⑦ 事実と同じでも、表現する人の立場や
考え方にちがっている言葉。
※表現する人 事例のまとめ

⑧ 受け取る側の印象も変える
※受け取る人 事例のまとめ

⑨ ことなる表現のれをつけて売った同じ
ハカチ。事例

⑩ 売れゆきにちがいがあつた同じ商品。
事例 (ハカチ)

⑪ 同じ事実でもちがった事実の受け
取り方をさせる言葉。事例のまとめ

⑫ 人がちがえばことなつた印象をちがえる。
回答 言葉

⑬ 話したり書いたりするときにはどのよ
うに表すか、気を配り受け取る時には、
相手の見方や目的などを考える必要
がある言葉。要旨

教材解釈 (教材研究)

① 村人たちがたびたびたましたつそ
つき少年の話。話題提示

② 事実と結びつけて使うことが大切な事。
話題提示

③ 同じ事実と結びつけても、伝える人
よてちがう言葉。問題提起

④ 最終ランナーのところまで、一組が二組を
ぬけて勝ったり。事例

⑤ 見出しに、「大勝利」「快勝」と書いた
同じ組の夏川さんと春村さん。事例

⑥ 「おとも敗れる」と書いた二組の秋田さん。
事例

⑦ 事実と同じでも、表現する人の立場や
考え方にちがっている言葉。
※表現する人 事例のまとめ

⑧ 受け取る側の印象も変える
※受け取る人 事例のまとめ

⑨ ことなる表現のれをつけて売った同じ
ハカチ。事例

⑩ 売れゆきにちがいがあつた同じ商品。
事例 (ハカチ)

⑪ 同じ事実でもちがった事実の受け
取り方をさせる言葉。事例のまとめ

⑫ 人がちがえばことなつた印象をちがえる。
回答 言葉


⑬ 話したり書いたりするときにはどのよ
うに表すか、気を配り受け取る時には、
相手の見方や目的などを考える必要
がある言葉。要旨

マイノート例② (中学校・国語)・・・教材解釈した後、板書計画を立てる P(計画)・・・1時間の授業構成を考える。

板書計画

未来へ (口語自由詩)

谷川俊太郎



谷川俊太郎
一九二二(昭和七)年、東京原簿出身、詩人。
詩集に「二十箇年」の雑誌「さん」(さん)などがある。
出典「すず」

○ 時を素すさまじまな表現に注

未来へ 谷川俊太郎

口語自由詩(今の言葉が、音数が理まじい)

① 道はたのシミが今日咲くまでに
どれだけの時が必草だ(た)らう

② 遠く地平へと続くこの道がどなるまでに
どれだけの時が必草だ(た)らう

③ 足元の土に無数の生と死が埋もれている
足元(あしもと)の土(つち)に無数の(むすぶ)生(なま)と死(し)が埋(う)もれ(も)れている

④ 人は限りないものを知ることはできない
だが人はそれをまざる(まざる)ことかてざる
限りある日々の儚(はかな)きを見つめて

⑤ 道はたのシミが今日咲くまでに
どれだけの時が必草だ(た)らう

⑥ 遠く地平へと続くこの道がどなるまでに
どれだけの時が必草だ(た)らう

⑦ 足元の土に無数の生と死が埋もれている
足元(あしもと)の土(つち)に無数の(むすぶ)生(なま)と死(し)が埋(う)もれ(も)れている

⑧ 人は限りないものを知ることはできない
だが人はそれをまざる(まざる)ことかてざる
限りある日々の儚(はかな)きを見つめて

教材解釈 (教材研究)

マイノート例③ (小学校・算数)・・・1時間の授業をPDCAサイクルで P(計画) → D(授業) → C(点検) → A(対応策)

板書計画 (1時間の授業構成) → 授業後、つまづき等を記載 → つまづきに対しての指導法等を記載

P:板書計画

1時

めあて 分数の復習をしよう。

① 24.5cmの竹ひごがあります。
 ② 7等分すると、1本分の長さは何cmになりますか。
 ③ 7cmずつに切ると、7cmの竹ひごは何本でき何cmあまりありますか。

②式 $24.5 \div 7 = 3.5$ 3.5 cm

③式 $24.5 \div 7 = 3$ あまり3.5 3本できて3.5cmあまる

③ 次の数の大小を、等号や不等号を使って式にかきましょう。
 ① $\frac{7}{9} > \frac{4}{9}$ ② $1 = \frac{3}{3}$

④ ① $\frac{2}{8} + \frac{1}{8}$ ② $\frac{2}{5} + \frac{3}{5}$ ③ $\frac{4}{8} - \frac{2}{8}$ ④ $1 - \frac{6}{10}$

$= \frac{3}{8}$ $= \frac{5}{5} = 1$ $= \frac{2}{8}$ $= \frac{10}{10} - \frac{6}{10}$
 $= \frac{4}{10}$

「1と書かなくてX」

C:児童のつまづき(付箋紙の活用)

② そのうちのいくつ分か?
 ③ ①を何等分して何分?
 おさえてみる!!!
 <1>はいいよ! <2>はわる!

① IL
 $\frac{1}{3}L$

② 次のかさだけ色をぬりましょう。
 ③ IL
 $\frac{3}{5}L$

④ IL
 $\frac{4}{4}L = 1L$

ILを何等分した何に分かを考えましょう。

問題 分数と長さ?
 ① 2L
 ② 3L
 $\Rightarrow \frac{1}{2}L$

③ 2m
 ④ 1m 1m $\Rightarrow \frac{2}{3}m$

① 1を何等分!!
 ② 何等分? (何で割る?)
 ③ いくつ分? (何で割る?)

分数
 1を何等分してそれがいくつ分あるか
 \downarrow
 $1 = \frac{1}{1}$ はいいよ!
 $\frac{1}{2} = 1$ を何等分?

C:児童のつまづき(付箋紙の活用)
 A:対応策
 時事の時間での指導等を記載